

企業にとってのTPP

－ TPPの課題と展望 －

2016年7月12日

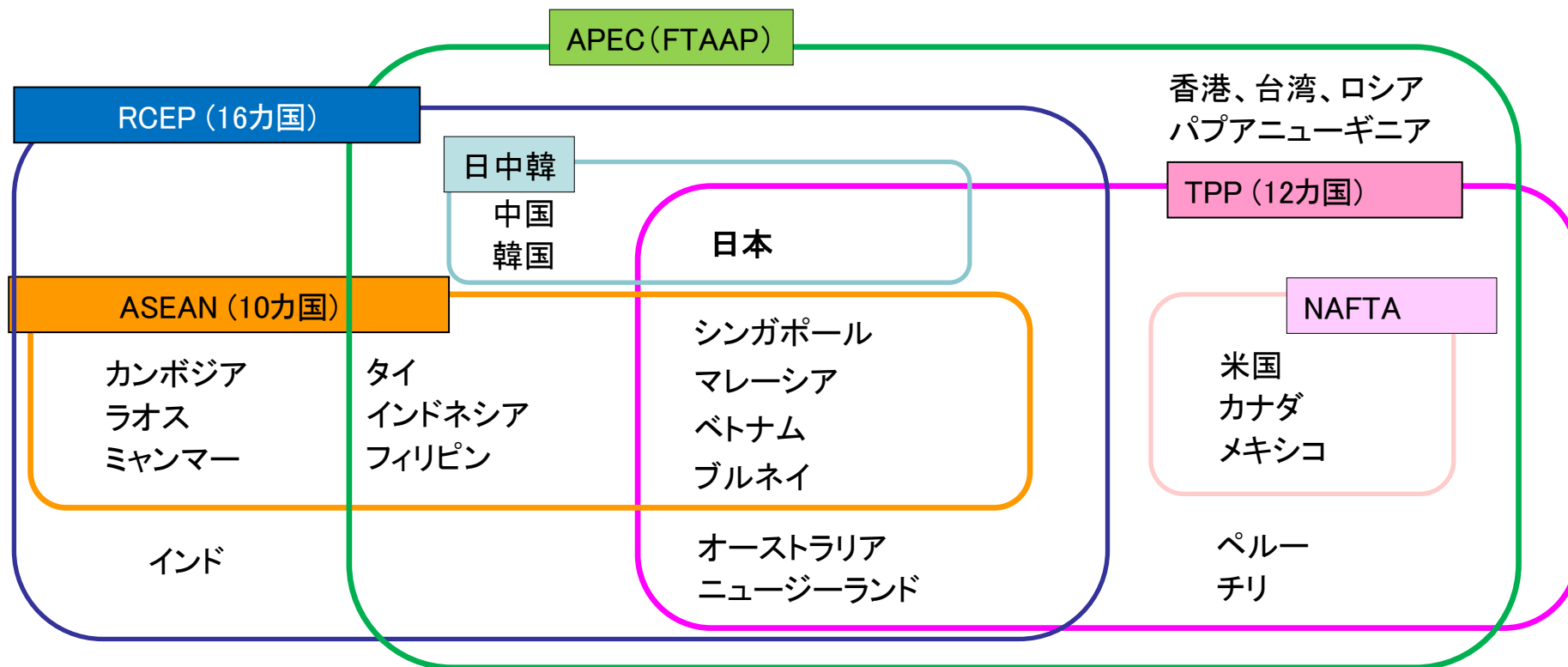
パナソニック株式会社
渉外本部 国際渉外部
島田 玄一郎

TPPに関する課題

1. 早期の批准

2. 加盟国の拡大及び 高水準なルールの拡大

- ・TPP加盟国の拡大
- ・他のFTAへのルール拡大(日中韓、RCEP、FTAAP)
- ・WTOへのルール拡大



3. 更なるルール作り

(i) 知財

- ・知的財産保護の強化と利活用のバランス
→フェアユース制度の導入

(ii) 雇用・税制

- ・OECD、WEF等の他の国際機関との連携

4. 更なる自由化

- ・関税削減スケジュールの前倒し(ex.車載用電池 15年)
- ・政府調達協定の適用範囲の拡大
(ex.米国州政府調達etc)

5. その他

- ・原産地証明の負担軽減
 - ①完全累積を証明するためのサプライヤーの負担軽減
 - ②輸入国税関から生産者への原産性検認に関する
透明性及び予見可能性の確保

TPPが生む更なるビジネスチャンス

- ＜例＞
- ・日本の農水産業改革に伴う関連ビジネスの拡大
 - ・農水産業の生産効率化、女性・高齢者の活用、IoT等の情報技術の農業への活用
 - ・ベトナムへの縫製業を中心とした企業進出

パワーアシストスーツ



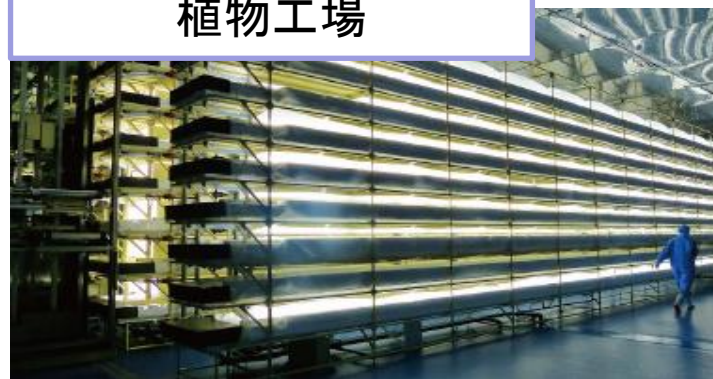
次世代牛舎システム



トマト収穫ロボット



植物工場



Panasonic